

「東京湾第三海堡遺構」が、すかまち景観デザイン賞・協議会賞を受賞しました。

「よこすか都市景観協議会」では、横須賀らしい景観を守り、まちづくりに役立てていくために、景観に配慮し優れた景観づくりに役立っている2部門（景観デザイン部門、海が見える坂道部門）を募集し、「すかまち景観デザイン賞」として表彰しています。

今回「東京湾第三海堡遺構」が、すかまち景観デザイン賞・協議会賞を受賞し、NPO法人アクションおっぱまとともに東京湾口航路事務所が表彰されました。

【受賞景観】東京湾第三海堡遺構

「東京湾第三海堡遺構」は、開発保全航路整備事業の一環として東京湾口航路事務所が海中より引き揚げた後、平成22年9月に現在の場所（神奈川県横須賀市夏島町）に設置しました。

現在は横須賀市が所有し、NPO法人アクションおっぱまを代表とする共同事業体が管理しています。

なお、平成28年に遺構は日本遺産構成文化財の一つに認定されています。

第三海堡についてはこちらをご覧ください。

<https://www.pa.ktr.mlit.go.jp/wankou/tourism/index.htm>

第三海堡の撤去についてはこちらをご覧ください。

<https://www.pa.ktr.mlit.go.jp/wankou/work/index2-3.htm>



写真提供者：よこすか都市景観協議会

【授賞式】

- ・日時：平成31年2月17日（日）13：30
- ・場所：ヴェルクよこすか 6階ホール

【受賞理由】

東京湾海堡は、首都東京を防衛するため明治～大正時代に建設された海上要塞です。3つの海堡が建設されましたが、第三海堡は完成から2年後に関東大震災で大きな被害を受け、撤去されることとなりました。その一部が横須賀市夏島町に移設され、一般公開されています。

貴重な歴史的保存建造物であり、古くからの軍港都市である横須賀の象徴ともなりうる第三海堡は、横須賀らしさの演出に寄与しているものとして評価されました。

